

校務の効率化をめざして

-クラウドサービスのフル活用-

「校務DX(デジタル・トランスフォーメーション)」をテーマに、「できることから」という視点でコンテンツを提供します。

Vol.2 令和6年 12月 02日発行

山口県教育庁教育情報化推進室

その校務、DXできるかも

教育DX通信やまぐちVol.2では、文部科学省の校務DXチェックリストの項目をもとに、学校においてDXを推進する視点を事例とともに示しました。

DXとは？

学校ではクラウドサービスの利用などが考えられます

DX(デジタル・トランスフォーメーション)の考え方の一つに、「組織や活動、あるいは社会の仕組みや在り方、人々の暮らしなどがデジタル技術の導入と浸透により根本的に変革すること」とあります。デジタル化について考えるとき、DXは次の段階を経るものと考えられています。

- 【第1段階】アナログ・物理データのデジタルデータ化(デジタイゼーション)
- 【第2段階】個別の業務プロセスのデジタル化(デジタライゼーション)
- 【第3段階】全体プロセスのデジタル化、価値創出、変革(デジタル・トランスフォーメーション)

学校でのDXは、校務や学習においてデジタル化が進む中で、働き方や学び方の変革が起き、新たな価値が生まれていくことであると考えられます。

今回も文部科学省の校務DXチェックリストの項目をもとに、学校でのDXにつながるコンテンツを見ていきましょう。

事例紹介② クラウドを活用した教職員間の連絡や情報共有

導入サポートはICT支援員または当室活用推進班まで！

【★文部科学省チェックリスト項目19,20★】

- ・職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れていますか。
- ・校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約等について、クラウドサービスを使って共有し、いつでも確認できるようにしていますか。

R5達成状況

71.9%

27.7%



教員⇄教員だけでなく、教員⇄事務職員のやり取りの活用にも！

「時間」や「つながり」という価値の創出



例) ○夏季休業中の動静管理

○特別教室等の利用管理簿

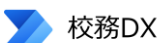
「クラウドを活用した学校変革のアイデア」

表計算ソフトで作成したファイルをクラウド上で共同編集する

全教職員が所属するTeamsのタブに追加し、アクセシビリティを向上させる

さらなるDXのアイデア

Power Automateで実施する



校務DX

テンプレートを利用したアイデア3選

Teamsを用いた定型の連絡やリマインド等の投稿、OutlookメールのTeamsへの転送、Teamsへの予約投稿をPower Automateで自動化する事例3選を、やまぐちICT新たな学びラボに掲載しています。是非ご覧ください。

